

# 貸借対照表

(単位：円)

三菱電機モビリティ株式会社

2024年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	114,530,031
当座預金	109,223,784	預り金	99,223,784
現金・預金計	109,223,784	未払法人税等	29,100
(その他流動資産)		流動負債計	213,782,915
前払費用	34,231,000	<b>負債の部合計</b>	<b>213,782,915</b>
未収入金	5,621,300	<b>純 資 産 の 部</b>	
未経過費用	8,139,744	<b>【株主資本】</b>	
未収消費税等	675,139	資本金	10,000,000
その他流動資産計	48,667,183	(利益剰余金)	
流動資産合計	157,890,967	[その他利益剰余金]	
<b>【固定資産】</b>		繰越利益剰余金	△ 17,045,116
(無形固定資産)		利益剰余金計	△ 17,045,116
その他無形固定資産	2,000,000	株主資本計	△ 7,045,116
無形固定資産計	2,000,000	<b>純資産の部合計</b>	<b>△ 7,045,116</b>
(投資その他の資産)			
長期前払費用	46,846,832		
投資その他の資産計	46,846,832		
固定資産合計	48,846,832		
<b>資産の部合計</b>	<b>206,737,799</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>206,737,799</b>

# 損益計算書

(単位：円)

三菱電機モビリティ株式会社

自 2023年11月 1日 至 2024年 3月31日

【売上高】		
売上高 計		0
【売上原価】		
期首商品・製品棚卸高	0	
当期商品仕入高	0	
当期製品製造原価	0	
合 計	0	
期末商品・製品棚卸高	0	
売上原価 計		0
売上総利益		0
【販売費一般管理費】		
販売費・一般管理費計	0	
営業利益		0
【営業外収益】		
営業外収益 計	0	
【営業外費用】		
開業費	22,637,316	
営業外費用 計	22,637,316	
経常利益		△ 22,637,316
【特別利益】		
特別利益 計	0	
【特別損失】		
特別損失 計	0	
税引前当期純利益(損失)		△ 22,637,316
法人税、住民税及び事業税		△ 5,592,200
当期純利益 (損失)		△ 17,045,116

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しています。
- (2) グループ通算制度を適用しています。

## 2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務  
短期金銭債権 …… 5,621,300円  
短期金銭債務 …… 114,530,031円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当事業年度末の発行済株式 普通株式 1,000株

## 4. 関連当事者との取引に関する注記

(単位：円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	三菱電機株式会社	被所有 直接100%	自動車機器事業本部との 経営統合に係る準備作業 を目的に設立・役員の兼 任等	自動車機器事業本部との 経営統合に係る準備作業 に関連する取引	114,530,031円	未払金	114,530,031円
				グループ通算税金計上	5,621,300円	未収入金	5,621,300円

注) 取引金額につき、価格その他の取引条件は市場実勢等を勘案して決定しています。

## 5. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 …… ▲ 7,045円
- (2) 1株当たり当期純損失 …… ▲17,045円

## 6. 重要な後発事象に関する注記

### (1) 取引の概要

当社は2024年4月1日を効力発生日として、親会社である三菱電機株式会社の自動車機器事業を吸収分割（以下、本吸収分割）の方式により、承継しました。

### (2) 本吸収分割の目的

当社は、各事業の特性に見合った施策を実施し、収益性・資産効率向上を図るべく、経営戦略として掲げる事業ポートフォリオ戦略と経営体質改善を推進しています。

特に、自動車機器事業においては、収益改善が課題であり、また、CASE<sup>(注)</sup>をはじめとして、産業構造が急速に転換する中、意思決定プロセスを簡素化し、よりスピーディーな事業運営を行うため、自動車機器事業を分社化します。これにより、一段の「事業運営の効率化」と「事業ポートフォリオの再構築」を図ってまいります。

(注) 「Connected (つながる)」「Autonomous (自動化)」「Shared & Service (利活用)」「Electric (電動化)」の頭文字を取ったモビリティ変革を表す言葉

### (3) 本吸収分割の方式

親会社である三菱電機株式会社を吸収分割会社とし、当社を吸収分割承継会社とする吸収分割方式です。

### (4) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等として処理しています。

### (5) 吸収分割する事業の内容と承継する資産、負債等の額

事業の内容	…… 自動車機器に関する事業
資産の額	…… 241,685百万円
負債の額	…… 194,248百万円※
評価・換算差額等の額	…… 17,447百万円

※本取引に際して認識した債務185,854百万円を含む

### (6) 事業承継後の特筆すべき事項

当社は上記の事業承継の後、親会社である三菱電機株式会社と株式会社アイシンの三者で、次世代電動化関連製品事業に関する合弁会社の設立に基本合意した旨を2024年5月24日に公表しました。本合弁会社は、当社からの会社分割により新会社として設立し、当社の一部の事業を引継ぎ、次世代電動化関連製品の開発・生産・販売を行う予定です。

現時点では、2025年3月期以降の当社の業績に与える具体的な影響は未定です。